創立60周年記念特別号

長野県看護連盟だより
なでしこ
No.81

― 2011年～2021年のあゆみ ―

Contents

1　会長あいさつ
2　関係団体からの祝辞
3　写真で綴る看護連盟のあゆみ
4　役員メッセージ
5　歴代役員・支部長一覧
6　連盟受賞者一覧
7　資料

届けよう看護の声を！
私たちの未来へ

発刊のことば

長野県看護連盟会長　三　輪　百　合　子

長野県看護連盟創立60周年を迎えるにあたり、機関紙「なでしこ」増刊号を発行することができましたことは、大きな喜びです。発刊にあたり、お忙しい中ご祝辞をお寄せいただきました諸先生方に感謝申し上げます。

長野県看護連盟は、1961年（昭和36）、日本看護連盟の長野県支部として設立して以来、今年で創立60周年を迎えます。2005年（平成17）日本看護連盟はリフォーム連盟の組織改革により、「長野県看護連盟」と名称変更しました。それに伴い、県内に支部組織を結成し、現在は地域支部・施設支部合わせて20支部の体制となり、会員数も設立当初の約1,000名から現在の約5,000名までとなりました。しかし、看護協会員比率は発足当初約90％であったものが、現在では約33％の状況となり、連盟の設立意義の理解を深めていく必要性を感じています。

今回のなでしこ60周年記念号は、主に50周年以降の10年間に焦点を当て、活動状況等お伝えしたいと思います。2013年第23回参議院議員選挙で石田昌宏議員が初当選。2016年第24回参議院議員選挙でたかがい恵美子議員が２回目の当選。2019年第26回参議院議員選挙で石田昌宏議員が２回目の当選を果たしました。その間、衆議院では、木村やよい議員が2014年初当選し、あべ俊子議員と共に活躍し、看護の代表議員が４人となり、大きく前進しました。

県連盟では、2013年青年部（ポリナビ）委員会が発足し、若い力が連盟を動かしています。また、地元の国会議員や県会議員の皆様との連携も深まり、特別賛助会員として13名の方に登録いただいております。

また災害の多い10年間だったとも言えます。2011年３月11日東日本大震災が発生し、翌12日は長野県北部地震により甚大な被害となり未だ復興の途上にあります。その後も全国で豪雨や地震等自然災害が数多く発生しております。長野県では、2014年の御嶽山噴火災害で多くの犠牲者を出しました。2019年は台風19号で千曲川が氾濫し会員施設や会員個人にも被害が及びました。災害のたびに各所の避難所等での看護職の活躍は言うまでもありません。

そして2020年、今も続いている新型コロナウイルス感染症の拡大です。コロナウイルス感染症の対応には看護職が、医療崩壊の危機の中で頑張る姿が様々報道されています。２年目に入りようやくワクチン接種が始まり、ここでも看護職は引っ張りだこで、社会の中で看護の存在価値、存在意義が広く認識されることとなりました。改めて災害のたびに看護職が現場で大活躍する姿には本当に頭が下がる思いです。それは、生誕200年を迎えたナイチンゲールの教えそのものであり、～今こそNursing Now～と実感します。更に、コロナウイルス感染症対応については看護協会と協力し、県や国に現場の窮状を訴え、危険手当や慰労金の支給、ワクチンの優先接種拡大等、直接個人の支援につながる活動ができました。

改めてこの10年を振り返り、社会にとって看護の必要性、重要性を人々が認識したことを実感したところです。また、看護現場での声を県や国に届けることで、制度や体制が変わっていくことも実感してきました。長野県看護連盟は、常に現場の声に耳を傾け、看護協会と連携し、看護職が生き生きと働き続けられる環境を作るよう、国政の場に看護職代表議員を送り続けるよう努めてまいります。皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

祝　　辞

日本看護連盟会長　大　島　敏　子

長野県看護連盟の皆さん、連盟創立60周年おめでとうございます。

遡ること昭和34年５月20日、日本看護連盟は、日本看護協会の政策実現のために創設されましたが、長野県看護連盟は、昭和36年11月に発足し、昭和・平成・令和の三世代をかけ抜けて来ました。その間、貴県は、輝かしい足跡と成果をもたらしました。人材確保の促進に関する法律制定により平成15年創立の長野県看護大学においては、第８・10代目の日本看護連盟会長、見藤隆子氏が学長を務められ、教育県の面目躍如として看護職養成の充実強化を推し進められました。

その間、看護職の名称が「婦」から「師」に代わり、男性看護師（平成５年）が誕生し、診療報酬に「７：１看護」（平成18年）が導入され、看護職配置はベッド数から入院患者の実態に併せた配置評価となり、看護界にとって画期的なものでした。人員不足が叫ばれながらも、臨床現場には十分ではないまでも看護職が増員されています。看護教育も全国に看護大学ができ、新人看護職員の卒後臨床研修制度に国家予算がつくなど、看護界にとって大きな変化の時代は続きました。２年に一度の診療報酬改定を背景に、医療安全や感染管理について、患者さんを守る仕組みが整いつつあります。政府方針の地域包括ケアシステムの構築で、地域に訪問看護ステーション数が増え、在宅療養も充実し、老人保健施設、病後児保育等で看護職の職場は多岐にわたっています。

これまでの歩みは、先輩の皆様のご努力、汗と涙の結晶であって、私財をなげうった方もあり、ただただ頭の下がる思いと共に、これを受け継ぎ、後輩に繋げることが専門職としての生き方であり、今後の連盟活動と考えます。

国会には、現在４人の看護職議員を送り出し、様々に活躍しています。生活を支える看護職への期待は、人生100年時代を迎え更に大きくなります。確固たる看護実践能力を身につけ、社会保障制度に目を向け、これからも歩んで参りましょう。

COVID-19の感染拡大が続く中、ケアに携わる看護職に感謝とエールを送ります。

祝　辞

参議院議員・自由民主党政務調査会副会長　**髙階恵美子**

長野県看護連盟の創立60周年を心よりお慶び申し上げます。

当時は医療施設の急増に伴い看護職の労働も苛烈を極め、病院ストライキが全国で起きていました。私たちの先達は、看護政策が国の重要な政治課題となったこの時機を捉え、率先して政治活動を始めました。長野県看護連盟の皆様におかれましては、いかなる状況にでも理性を失わず凛として道を拓かれた先輩諸氏の歴史を共に誇り、その信念を次代へ受け継いでさらなる発展を遂げられることと期待しております。看護職は世界の隅々で100年に一度とされる新型コロナウイルス感染症の猛攻に際しても揺らぐことなく、理論と経験に基づく高い専門性を各地で発揮しています。

私も国政に送り出していただき皆様と共に歩んで11年となりました。看護の現場を第一に考え、志を共にする同志と一致結束して制度の充実のため全力を尽くします。

看護職の笑顔が輝く成熟社会の実現に向け、政治団体を創設した先達のように、私たちもお互いを信じ、励まし、支え合い、実りある次代を築けるよう地道な努力を続けなければなりません。私も微力を投じて参りますので引き続きよろしくお願いいたします。

末筆ながら、長野県看護連盟役員及び会員の皆様、看護政策の推進にご賛同くださる関係者及び支援団体の皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、結びといたします。

参議院議員・厚生労働委員会筆頭理事
自由民主党参議院国会対策委員会副委員長　**石田昌宏**

長野県看護連盟創立60周年記念誌発刊に当たりご挨拶申し上げます。

2021年は世界が新型コロナウイルスと戦い、医療を含む社会制度が大きな節目を迎えた年として人類史に刻まれることでしょう。まさにその渦中に貴連盟は60周年を迎えられます。貴連盟が長きにわたり県民の健康を守り続けて下さっていることを、看護職の一員として誇りに思うとともに、敬意を表します。

また２度の選挙では大変お世話になりました。前回の選挙では皆様の尽力により、自民党内医療福祉系の候補者の中で最多得票を獲得し、再選することができました。貴連盟の皆様が60年もの間、日々地道な連盟活動を行った積み重ねの結果であることは言うまでもありません。今日まで活動を続けてこられた諸先輩方、そして会員の皆様に心より感謝申し上げます。

来るべき未来への看護の課題の中でまず取り組まなければならないのが人員不足です。十分なケアを受けられない患者と、過労の中で持っている力を十分に発揮できない看護師ら医療従事者たちに負担がかかりすぎています。国民の目が医療従事者に向いている今こそ課題解決せねばなりません。

今後も現場からの声にしっかりと耳を傾け、「今日も一日良い看護ができた！」と皆様が実感できる環境を今後より一層作っていけるよう、これからも活動を続けてまいります。

60周年記念誌発刊にあたり長野県看護連盟の皆様の更なるご発展を心より祈念申し上げます。

衆議院議員・外務委員長
自由民主党政務調査会副会長　**あ べ 俊 子**

長野野県看護連盟創立60周年に心よりお祝い申し上げます。

「看護政策の実現のために政治活動ができる団体を」という切実な願いのもと、貴連盟には多くの期待が寄せられております。その責務に長年にわたり、多大なるご尽力を賜りましたことに心より敬意を表します。

特に先般の新型コロナウイルス感染症への対応では、臨床という最前線で戦う、看護師の姿に感謝と尊敬の声が多く寄せられています。ご自身のいのち、くらし、そして家族を守りながら、患者を救うために出勤している看護職に対して政治家は何ができるかを問われていると、承知しています。

若者の政治離れが叫ばれる今日の状況を思うと、皆様の活動におけるご苦労を拝察いたします。ですが、貴連盟の活動を理解、実践することが、結果的に看護職の願いを政策に反映させ、全世代の「いのち・くらし」をより良くすることにつながる。そう、一人でも多くの方に実感して頂けるように、心して国政での活動を続けて参ります。

貴連盟の益々の発展を心より祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。

自由民主党副幹事長・衆議院議員　**木 村 や よ い**

長野県看護連盟「60周年記念誌」のご発刊に、心よりお祝いを申し上げます。

皆さまにおかれましては、日頃より私たちをお支え頂き、大変感謝しております。また、新型コロナウイルスと闘い、現場で頑張っておられます全ての看護職の皆さまに、心からのエールを送ります。

私は2014年12月に政界へお送りいただき今年で７年目となりますが、看護と看護職の皆さまのために議員バッジをつけて仕事をさせてもらっているとの思いを忘れたことはありません。

第３次補正予算には、新型コロナウイルス患者受入れ医療機関に対し、人件費に使うことを要件とする補助金が盛り込まれました。さらに保健所の機能強化のため、２年間で保健師を900人増員するための財政支援も行われます。

また、２月４日の衆議院予算委員会では、看護職の処遇改善を訴え、現場の負担軽減と人材の確保のために、潜在看護職の活用と復職支援についても提案しました。

これからも、看護職が疲弊せずいきいきと働き続けられる環境づくりに力を尽くしてまいります。

最後に、長野県看護連盟の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

自由民主党長野県支部連合会会長・衆議院議員　**後　藤　茂　之**

長野県看護連盟が創立60周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症に対する戦いの中で本当にご苦労いただいていることに感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症対策本部座長として、国民のいのちと暮らしを守り抜くため、また皆さんの力に報いるため全力をつくしてまいります。

現在、我が国では、団塊の世代が75歳以上になり始める2022年を目前にしており、地域の様々な場において、他職種と協働しながら患者・要介護者を支える看護職員の役割は更に重要性を増しています。

厚生労働担当の政調会長代理、社会保障制度調査会事務局長、介護委員長として、こうした環境の変化に対応するため、政策に皆さまのお声をしっかり反映させて、質の高い看護職員の養成・確保に関する施策を推進してまいります。

長野県知事　**阿　部　守　一**

このたび、長野県看護連盟が創立60周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

長野県看護連盟におかれましては、看護職員の勤務環境や処遇の改善、看護教育制度の充実等にご尽力され、あらゆる看護問題の解決に向けて活動しておられますことに深甚なる敬意を表します。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、現場において、まさしく第一線を担っておられる看護職の重要性を改めて実感しているところです。

現在、急速に進行する少子高齢化と人口減少の到来などにより、看護を取り巻く環境はもとより、社会経済も大きな転換期にあります。とりわけ県民生活にかかわりの深い保健医療福祉分野では、医師や看護師不足等の問題をはじめ、多くの課題を抱えております。

長野県では、将来を見据えつつ県民の皆様が、明日への希望を持ち、安心して暮らすことができる保健医療サービスが提供できるよう、課題解決に積極的に努めてまいります。皆様には、今後とも地域社会の発展と保健医療の資質向上を図るための一翼を担っていただきますとともに、引き続き、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、長野県看護連盟の更なるご発展と、会員の皆様方のご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

長野県議会看護問題懇話会会長・長野県議会議員　**本　郷　一　彦**

伝統ある長野県看護連盟が60年の歴史を造形され、この度60周年記念誌発行となりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

とりわけ昨年来の100年ぶりというコロナ禍の中、厳しい医療体制のもと、体力気力の限界まで職務に励まれ、深く敬意を表します。私も三輪会長のご指導のもと、県議会において看護問題懇話会の会長を務めさせて頂いておりますが、多くの勉強会や意見交換会を通じて勤務体制・処遇改善等、山積する課題を学び自分自身の問題として考える毎日であります。

多くの参議院議員を国会へ送り、その実践力と団結力は誠に理想的モデルであり、国会議員と県議会が連携し山積する課題に全力で取り組む決意であります。真に県民が豊かな生活を堅持すべく看護連盟の役割は一層増加すると思われますが、県議会といたしましても看護師の皆様のお気持ちをしっかり受け止め県政を通じ医療充実の為に全力を傾注致します。

公益社団法人長野県看護協会会長　**松　本　あ　つ　子**

長野県看護連盟60周年誠におめでとうございます。看護連盟発展のためにご尽力いただいた皆様に心からの敬意と感謝を申し上げます。

さて、長野県看護協会は1948年に日本助産婦看護婦保健婦協会長野支部として設立され73年が経過しました。この間、私たちを必要としている方々への看護提供は普遍的なものであるにもかかわらず、看護界を取り巻く環境は著しく変化しました。そこで、看護協会は現状と課題を見極め政策提言に繋げ、看護職が本来の役割を果たせるように看護職の業務改善と地位向上、処遇改善を成し遂げてきました。先人の皆さんのたゆまぬ努力によって守られ、政策の場で大きく声をあげてもらったからこそ実現できたと考えます。今後も看護連盟は看護協会員の一人ひとりの声を集約して国政の場に届けるための組織であることを大切に、看護界発展のために政界へ看護職を送り出すよう活動いたします。

今後ますますの発展をお祈りしてお祝いの言葉といたします。

長野県看護連盟顧問　**藤　澤　淑　子**

長野県看護連盟創立60周年、誠におめでとうございます。コロナ禍にあって活動しにくかったことと存じますが、着実に会員を増やしうれしい限りです。三輪会長中心に、役員や会員の方々が一つになって取り組まれた証だと思います。

会長を退任して、改めて皆様にお伝えしたいことを述べたいと思います。一つ目は、看護協会会員全員が連盟会員になることです。働く現場にあって最も大変さがわかるからです。会員倍増も間違いなしです。数が増えると組織は勢いを増し、難題もやがて現実化へと向かうことと思います。二つ目は、看護の代表を国政に送り、支え続けることです。現場の声の良き理解者であるからです。中でも石田参議院議員は、施設訪問時、メモ帳を片時も離さず書き漏らすまいとペンを走らせている姿、今も目に焼き付いて離れません。この人のためにずっと支え続けようと心に誓いました。

次々といろいろな思い出がよぎりますが、紙面の都合上、以上2点を強調したいと思います。今後、これらを継続目標に掲げ、達成させるという意気込みを新たに、力を発揮して下さい。陰ながら応援しています。

写真で綴る看護連盟のあゆみ

長野県看護連盟総会

2012年度　新旧看護連盟会長交代
原会長お疲れさまでした

2013年度　長野県看護連盟総会

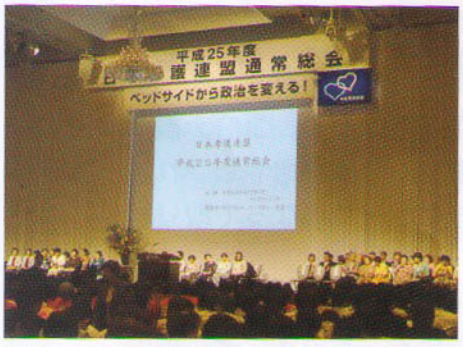
2014年度　長野県看護連盟総会

2015年度　長野県看護連盟総会

2015年度特別講師：草間朋子日本看護連盟会長
テーマ：看護政策実現に向けて

2018年度　長野県看護連盟総会

日本看護連盟総会



2013年度　日本看護連盟総会

2010年度～３年間、日本看護連盟幹事
を務めた藤澤淑子氏

2014年度～３年間、日本看護連盟青年
部担当幹事を務めた内山博幸氏

2015年度日本看護連盟名誉会員証を授与
された原顧問

2014年６月、日本看護連盟総会55周年
記念受賞者

長野県看護連盟主催の研修

2013年度　リーダー研修
講師：長野県看護連盟顧問　原　　宏 子

2013年度　会員研修
講師：参議院議員　石 田 昌 宏

2013年度　看護協会・看護連盟協賛研修
講師：日本看護協会常任理事　斎 藤 訓 子

2014年度　看護協会・看護連盟協賛研修
講師：日本看護連盟会長　草 間 朋 子

2014年１月　看護部長ワークショップ
講師：NPO看護職キャリアサポート顧問　大 島 敏 子

2015年　看護部長ワークショップ
講師：NPO看護職キャリアサポート顧問　大 島 敏 子

2016年　看護部長ワークショップ
講師：参議院議員　石 田 昌 宏

2017年度　看護協会・看護連盟協賛研修
講師：日本看護協会会長　坂 本 す が

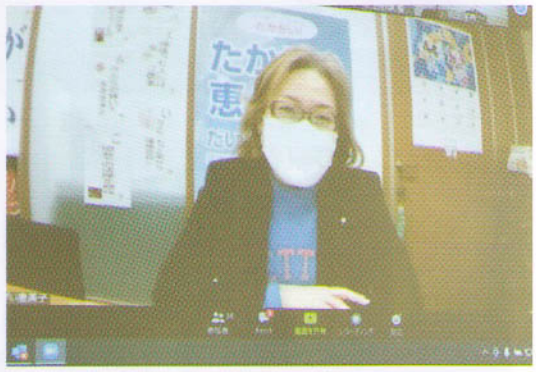
2018年度　地区別研修　東北信シンポジウム

2019年度
前期リーダー研修

講師
長野県看護連盟会長
三輪百合子
長野県看護協会会長
松本あつ子
日本看護連盟常任幹事
尾形妙子

2020年11月　協賛研修
（会場とリモートの併用）

講師
日本看護連盟会長
大島敏子



2021年１月　会員研修（リモート研修）
講師：参議院議員　高階恵美子

2014年11月　ＯＢ・会員交流会　　テーマ：よい睡眠を得るために
講師：東洋羽毛睡眠健康指導師　臼杵礼司　　東洋羽毛北陸営業所所長　菅原　修

2015年11月　ＯＢ・会員交流会　「絵手紙を通して心を届けよう」　講師：ＮＨＫ絵手紙講座講師　北沢延子・荒井文子

2016年度　ＯＢ・会員交流会
テーマ：「人生悠々散歩」
講　師：ラジオフリーキャスター　武田　徹
ハーモニカ演奏を交えて、楽しい時間を過ごしました

国会見学に参加

2013年　高階議員の出迎え

2014年　石田議員室で記念撮影

2015年　国会にて高階議員

2018年　国会議員に要望書を渡しました

2018年　高階議員室にて

2018年　バスの中での基礎研修

2019年

2019年　定番のカレーライスをいただきました

施設訪問

飯 山 支 部

長野市民病院支部

長 野 支 部

長野赤十字病院支部

松代総合病院支部

長野南支部

上 田 支 部

佐 久 支 部

安 曇 支 部

安曇野赤十字病院支部

信州大学医学部附属病院支部

松 塩 支 部

木 曽 支 部

諏 訪 支 部

伊 那 支 部

飯 田 支 部

下伊那赤十字病院支部

大学・専門学校にも訪問した

清泉女学院大学

長野県看護大学

信州木曽看護専門学校

活動報告

2018年度看護協会・看護連盟合同会議　年２回開催

役員・支部長合同会議を毎月開催

2017年度　県政等懇談会　毎年開催

2018年　務台衆議院議員　新年のご挨拶の来訪

2018年　自民党から感謝状をいただく

2019年　長野県主催移動知事室に参加（諏訪赤十字病院にて）

2019年　自民党看護問題対策議員連盟総会に参加（東京にて）

2020年12月　看護問題懇話会を開催

2020年度　関東甲信越ブロック政策セミナー（リモートにて）

その他

2013年４月17日、東京プリンスホテルにて、元日本看護連盟会長・長野県看護大学初代学長の見藤隆子様を追悼する日本看護連盟主催「故見藤隆子先生を偲ぶ会」に出席。
2013年２月３日には駒ケ根高原リゾートリンクスにて、長野県看護大学主催「見藤隆子先生を偲ぶ会」が行われる。

2017年９月　元日本看護連盟名誉会員寺島敏子様の葬儀（三輪会長弔辞）

青年部の活動

2014年　ポリナビキャラバン in 南信

2014年　ポリナビキャラバン in 中信

2016年　ポリナビキャラバン in 中南信

2016年
全国ポリナビワークショップ新潟

2019年　ポリナビキャラバン in 飯田

2017年　キャンポリ軽井沢　研修実施後、会員との交流会

2017年　ポリナビキャラバン in 東北信

2018年　佐久看護専門学校　連盟活動の説明

模擬選挙の実施

2018年　関東甲信越ポリナビワークショップ in 長野を開催

日本看護連盟にて事前説明会

開会式を開催

各県のブース

髙階恵美子参議院議員とともに

2011年11月

2014年　決起集会

↑　2015年３月
総決起集会に413名が
参集した　→

2014年７月　南信地区を訪問

2015年７月
政策集会

2015年　長野県看護連盟通常総会にて

2015年　看護連盟通常総会にて

2018年度
役員・支部長合同
会議に参加

2016年12月　会員研修（役員と共に）

2016年12月　会員研修

石田昌宏参議院議員とともに

2012年　政策推進集会

2013年８月　選挙カーにて

2014年
施設訪問しました

2014年　石田議員国政報告

2015年11月　東北信地区看護連盟支部合同研修会

2018年６月　通常総会にて

2019年７月

2019年８月
参議院議員選挙祝勝会に参加　東京にて

選挙応援活動

2018年　阿部守一知事選挙の応援

2018年８月
阿部守一知事が当選報告の訪問

2018年
塩尻市会議員に樋口千代子前看護連盟参与が当選

2019年　県会議員本郷一彦議員出陣式に参加

2019年　松本市長に当選　臥雲義尚氏訪問

2018年　安倍晋三総裁を応援する会に出席

災害

2011年３月11日　東日本大震災が発生

地震・津波・東京電力福島第１原発の電源停止による機能不全となり、多くの犠牲者を出した

総会や研修のたびに東北の物資販売を行い支援した

2019年10月　台風19号が長野県を通過して千曲川が決壊し、大きな被害をもたらした
全国の都道府県看護連盟より義援金をいただいた

浸水した県立総合リハビリテーションセンター

濡れたカルテや書類

土砂が流れこんだリンゴ畑

浸水した新幹線の車体

2020年　新型コロナウイルス感染症が全世界を襲い、パンデミックとなった

2020年５月
国会見学でお世話になっているシーマバスが医療者応援のため、ラッピングを施して看護連盟に来た！

2020年６月　阿部知事に要望書提出

県健康福祉部長に要望書を提出

県議会議員：本郷一彦氏に医療界の現状を説明

2020年４月　参議院議員石田昌宏氏、コロナ対応・医療者支援について国会質問を行う

長野県看護協会の依頼により看護連盟役員がコロナ対応の支援を行った

ＰＣＲ検査センターへの支援

電話相談の支援

感染対策について高齢者施設へ支援

新型コロナウイルス感染患者を受け入れた病院を訪問し、現状を聞き、要望につなげた

2020年８月　松本市立病院

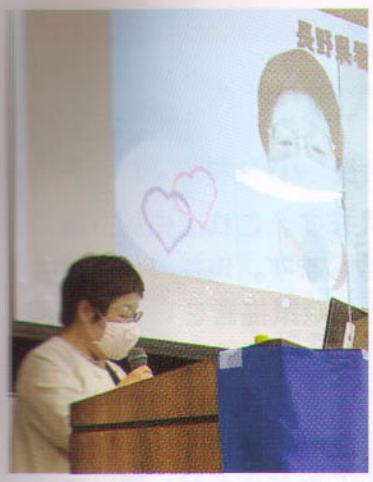
2020年８月
市立大町総合病院

2021年３月　飯田市立病院

2021年３月　県立阿南病院

長野県看護連盟創立60周年記念式典

2021年６月27日(日)　長野県看護協会会館大ホールにて開催
出席者：会場内　76名　　リモート参加　20施設
コロナ禍により一般会員はリモート参加となりました



長野県看護連盟会長・
三輪百合子のあいさつ

長野県看護協会会長・松本あつ子様
から祝辞をいただきました

日本看護連盟会長・大島敏子様から
祝辞をいただきました

国会議員・県会議員の皆様から祝辞をＶＴＲでいただきました

衆議院議員　後藤茂之 様

衆議院議員　宮下一郎 様

衆議院議員　務台俊介 様

衆議院議員　井出庸生 様

長野県県議会議員　本郷一彦 様

長野県看護連盟創立60周年記念講演会

テーマ
「看護政策実現に向けて看護協会と看護連盟の協働」

講　師
日本看護協会会長　福井トシ子

リモートによる講演でしたが、福井会長の熱いメッセージが伝わり、盛会のうちに式典を終了することができました。

役員メッセージ

60周年を迎えられて感謝

副会長　小　林　厚　子

長野県看護連盟は、今年の11月に創立60周年を迎えます。これは先輩役員、会員の皆様が築き上げて下さったからと心から感謝致します。現在の会員数は5,000人を超える大きな組織になりました。看護協会は政策提言をし、看護連盟は看護協会が提言する看護政策実現の活動をする団体です。そのために看護職の代表を国政・地方議会に送り出しています。現在４人の国会議員がいますが、看護職のために処遇・待遇の改善等問題解決に頑張って頂いています。

長野県の研修には以前から、大島敏子先生を講師として毎年お越し頂いていました。先生のファンが多く、受講生が元気になって帰っていくからです。連盟役員となって嬉しかったことは、その先生が2019年日本看護連盟の会長に就任されたことです。皆で喜びました。看護協会と協働して看護連盟はこれでより強い組織になると思いました。

これからも歩み続ける長野県看護連盟

副会長　何　原　真　弓

長野県看護連盟は、決して忘れることのできない今この時、60周年を迎えました。これから先も、70周年、80周年と歩み続けるでしょう。

終わりの見えないCOVID-19感染拡大に、人々は新しい生活様式を求められ、模索する日々が続いています。看護職は悩み苦しみながら、対象となる人々に向き合い続けています。今だからこそ、看護連盟と看護協会が深く、そして強くつながることが求められます。声に出して伝えることの意味と価値、行動が結果につながることを改めて認識しましょう。これからも人々の声に耳を傾け、寄り添う長野県看護連盟として力強く歩み続けましょう。

看護連盟は看護の未来を支えます

幹事長　井　上　品　子

この60年間に看護連盟は看護の代表を国政に送り続け、看護職の労働環境や看護教育制度の改善などに取り組み、今日の看護職の社会的評価に繋がる結果となっていることは、多くの先輩看護職の皆様のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。

私は、看護連盟の本部役員として活動させて頂くようになって５年目になります。この間に2019年の台風19号による甚大な被災や2020年からの新型コロナウイルス感染症の世界的大流行など、その厳しい現場で活躍される看護職を通して、今更ながら看護職の必要性・存在価値の大きさを実感しています。

これからも、看護連盟はその役割の本質を忘れることなく、看護職がやりがいを持って生き生きと活躍できるように支援する看護連盟であり続けたいと思います。

役員メッセージ

魅力ある専門職能団体としての発展

幹　事　野　池　光　子

6年前、18歳選挙権が行使されるにあたり看護学生と関わっているということで、前会長の藤澤さんから強い要請があり役員を引き受けました。それまで連盟活動はほとんど行っておりませんでしたので、それこそ歴史から学ばせて頂き、責任の重大さを改めて感じました。先輩方のご指導を受けながら、様々な選挙活動・国会見学・要望書の作成・施設訪問等を経験しましたが、主に教育担当として研修の企画・運営をしてまいりました。その中で、講師の先生方や受講者の方々との出会いから次に向けての意欲を頂けたと思います。連盟発足より60年の内の僅か10分の1の経験ですが、組織力を強化しさらに魅力ある専門職能団体として発展できるように努力したいと思います。それには、投票率の低下が問題とされている若者への働きかけについて、青年部の活動を応援し、期待したいと思います。

昨年から新型コロナウイルスの影響により活動が妨げられておりますが、早く終息し、研修担当として、リモートでなく大勢の皆様にお会いできることを願っております。

現場の声を政治に生かす

幹　事　久　保　た　み　子

長野県看護連盟設立60周年おめでとうございます。

この60年の歩みの過程にはいろいろな歴史があり、その前任者の方々の活動が今の医療・看護の基礎を築きあげて下さっていると感じています。

このコロナ禍の中、献身的に責任感と使命感に燃え頑張っている看護師たちの「現場の声」を、いかに政策と看護師の働く環境改善につなげていけるかを考えながら活動していきたいと思います。

組織を通してつながる会員

幹　事　山　田　み　ど　り

長野県看護連盟創立60周年を迎えるこの時期に、財政担当幹事に任命されました。諸先輩が築き、継続してきた連盟の財政業務は、とても責任の重いものです。

初年度は、経験豊かな役員に支えられ指導を受けながら業務を覚えていきました。独り立ちした2年目は、台風19号により千曲川が氾濫し連盟会員の住宅、働く医療施設が大きく被災しました。連盟は、被災者に災害に立ち向かう勇気とエネルギーをお届けしたいと見舞金・義援金を渡しました。組織を通して繋がる会員の温かさに関われました。3年目は、新型コロナウイルス感染拡大により、各行事がほとんど中止、変更をしました。過去経験がない事態となりました。看護連盟も社会状況に合わせ、会議・研修もリモート方式を取り入れ現在に至っています。

皆様からの貴重な会費を有効に使い、充実した連盟活動が実施できるよう努めていきたいと思います。

役員メッセージ

長野県看護連盟の更なる発展

幹　事　山　崎　常　安

長野県看護連盟が昭和36年に設立され創立60周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。三輪会長、歴代会長をはじめ、関係の皆様の努力のおかげで現在の長野県看護連盟があるのだと思います。

私が、JA長野県厚生連篠ノ井総合病院の看護部長時代に看護連盟より入会の依頼がありました。当時看護連盟への目に見えた協力はほとんどできていませんでした。今後の看護職の看護制度改革や労働条件の改善を考えて、看護連盟に入会している人たちに任せるだけでなく、せめて看護連盟の会員にだけは看護職全員で加入しようということを提案し、篠ノ井総合病院看護職は全員で看護連盟に加入し、篠ノ井総合病院支部を立ち上げたことを思い出しています。

長野県看護連盟が更なる発展を続けられますよう祈念申し上げます。

全員の力で働きやすい職場を作ろう！

幹　事　加　藤　祐　美　子

私が看護連盟に加入したのは新入職の時で当然みんなが加入するものと思っていました。以降、看護界を代表する議員選挙には行きましたが、関心は薄いものでした。２年前に連盟役員となり、連盟活動を理解していただくために、教育担当として研修会の実施や支部活動の支援を行ってきました。私たちの職場を働きやすくするもしないも一人一人の会員の力です。一人の声は小さくともみんなで行動すれば状況を変えることができます。

昨年から今年にかけて全世界で新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振るいパンディミックとなりました。世界の様相が変わり、制限のある生活となり、コロナウイルスと戦っています。今年になり、ワクチン接種が始まり少し先の見える状況となりました。医療者はフル回転の活躍です。医療界の代表である国会議員皆様の活躍で様々な支援を受けることができました。今後も看護職の代表となる国会議員を選出すべく、また、連盟のことを少しでも理解していただける活動をしていきます。

支えて活動できる組織をつくりましょう

幹　事　中　村　千　代　子

60年という長い実績は、いままでの先輩方がいまの私達の事を思って活動してくださいました。これからの看護を担っていかれる方々が、思う存分自分がやりたい、望む看護が出来るように、看護職、地域の皆さまの声を聞き活動できる連盟になってもらいたいと思います。

看護職が自分の事としてとらえ、政策を理解し、皆が活動出来る事を目指していける連盟になればと思います。支えて活動出来る組織をつくる、そして広められることを願います。

役員メッセージ

看護職の未来は明るい？

幹事　安彦一也

長野県看護連盟設立60周年おめでとうございます。節目の時期に役員をやっておりましたので、一言二言述べさせてもらいます。60年前に、この組織を作った大先輩たちの先見性や行動力には頭が下がる思いです。そして、現在の看護師があるのもそういった方々の努力の結果と思います。さて、これからの看護はどうなっていくか、それは私達にかかっていると思います。60年前の先輩方を見習い、先見性をもち、常識にとらわれない行動力で、看護の世界を変えていきたいと思います。20年後も役員？　会長？　として関わり、今の自分の文章が、先見性があったと見返せるように活動を続けていきます。みなさん、未来の明るい看護を目指していきましょう！

ピンチをチャンスに変えよう

監事　降簱祥子

看護学校に入学してしばらくしたころ、教務の先生が「今度の選挙に看護職の代表が立候補しているので是非お家の人や知人にお願いしてください」と授業の前にお話がありましたが、わたしはまだ選挙権はありませんでした。会員ハンドブックを見ると石本茂先生の初回の選挙の時でした。まだ看護協会や看護連盟など何も知りませんでした。新卒の時から会員となり会費徴収が毎月あり、以降勤務先は何度も変わりましたが、会費会員として点線のように会費を納入してきました。

大先輩に勧められるままに県の役員を仰せつかり、引き受けなければわからなかったことや経験できなかったことを経験でき、刺激的な時間でした。また皆さんの足を引っ張りながら、助けていただきながら、なんとか任期を終えることが出来ました。

とにかく、連盟の仕事は選挙に勝つこと。そのためには会員を増やすこと。支部長さんたちの大変さは並大抵なことではありません。本当に忙しい勤務の中ご苦労様です。

いつ終息するかわからないコロナ禍のなか、看護と政治とのつながりをこれほど痛切に感じることはありません。ピンチをチャンスに変えるのは今ではないかと思います。大変な時期ですが、力を合わせて頑張りましょう。

役員として活動できることの誇り

監事　千野啓子

思い起こせば、若い時に石本茂議員に花束を渡した記憶がありますが、それ以外は、ずっと会費を払っているだけの会員でした。

ある日、当時の長野県看護連盟幹事長の古旗さんから電話があり、２年間だからと言われ、軽い気持ちで監事を引き受けました。一期３年と知り、はたまた一期だけでは辞められない現状に“やられた”と思いました。家計簿も付けたことがなく、お金を扱う仕事もしたことがない私に監事の仕事は複雑でした。まず、フロー図にして流れを理解した後、降簱監事・財務担当山田幹事と会計監査マニュアルの作成を行いました。歴代の財務担当幹事の適切な帳簿管理によりスムーズな監査が行え感謝です。

60周年の記念の年に役員として活動ができることを誇りに思い、残りの３年間、監事の役割を遂行していきたいと思います。

歴代役員一覧

	会　長	副会長	副会長	幹事長	幹　事	幹　事	幹　事	幹　事	幹　事	幹　事	幹事(ポリ)	監　事	監　事
2011年 (平成23年)	原　宏子	宮澤千代子	古旗征子	藤澤淑子	小林記久代	勝野玲子	若林貞子	近藤久代	小林厚子			五十嵐久子	浦野美代子
2012年 (平成24年)	藤澤淑子	宮澤千代子	近藤久代	古旗征子	小林記久代	勝野玲子	若林貞子	降簱祥子	小林厚子		内山博幸	五十嵐久子	小林悦子
2013年 (平成25年)	藤澤淑子	宮澤千代子	近藤久代	古旗征子	小林記久代	勝野玲子	田中喜恵子	降簱祥子		須藤のり子	内山博幸	五十嵐久子	小林悦子
2014年 (平成26年)	藤澤淑子	田中喜恵子	近藤久代	古旗征子	小林記久代	勝野玲子	宮澤千代子	降簱祥子		須藤のり子	内山博幸	五十嵐久子	小林悦子
2015年 (平成27年)	藤澤淑子	田中喜恵子	近藤久代	古旗征子	小林記久代	勝野玲子	宮澤千代子		野池光子	須藤のり子	内山博幸	降簱祥子	小林悦子
2016年 (平成28年)	藤澤淑子	田中喜恵子	小林厚子	古旗征子	小林記久代	近藤久代	宮澤千代子	久保たみ子	野池光子		内山博幸	降簱祥子	小林悦子
2017年 (平成29年)	三輪百合子	田中喜恵子	小林厚子	古旗征子	小林記久代	近藤久代	井上品子	久保たみ子	野池光子		内山博幸	降簱祥子	小林悦子
2018年 (平成30年)	三輪百合子	何原真弓	小林厚子	井上品子	小林記久代	近藤久代	山田みどり	久保たみ子	野池光子	山﨑常安	安彦一也	降簱祥子	千野啓子
2019年 (令和元年)	三輪百合子	何原真弓	小林厚子	井上品子	加藤祐美子	中村千代子	山田みどり	久保たみ子	野池光子	山﨑常安	安彦一也	降簱祥子	千野啓子
2020年 (令和２年)	三輪百合子	何原真弓	小林厚子	井上品子	加藤祐美子	中村千代子	山田みどり	久保たみ子	野池光子	山﨑常安	安彦一也	降簱祥子	千野啓子

支部長一覧表

年度＼支部名	飯山	中野	長野	長野赤十字	長野市民	長野南	篠ノ井	上田	佐久	安曇	安曇野赤十字	松塩	信大	木曽	諏訪	諏訪赤十字	伊那	飯田	下伊那赤十字
2011年（平成23年）	鈴木曜子	井浦幸子	塩崎八重子	高木利子	西澤ひとみ	三浦秀子	青木かおる	中村千代子	代理 依田尚美	柳本芳恵	丸山由美子	召田美恵子	三橋眞紀子	青木いち子	折井こずえ	神澤ひさ美	田中喜恵子	若杉志賀子	小池佐和子
2012年（平成24年）	鈴木曜子	井浦幸子	塩崎八重子	高木利子	西澤ひとみ	堀田恵美子	青木かおる	中村千代子	平川香苗子	柳本芳恵	輪湖二葉	召田美恵子	三橋眞紀子	青木いち子	折井こずえ	桑貝紫	中坪さかえ	武田忠男	小池佐和子

年度＼支部名	飯山	中野	長野	長野赤十字	長野市民	長野南	松代総合	篠ノ井	上田	佐久	安曇	安曇野赤十字	松塩	信大	木曽	諏訪	諏訪赤十字	伊那	飯田	下伊那赤十字
2015年（平成27年）	鈴木曜子	高野千恵	塩崎八重子	大澤君枝	西澤ひとみ	堀田恵美子	丸山とく子	鶴田まゆみ	中村千代子	平川香苗子	柳本芳恵	輪湖二葉	召田美恵子	三橋眞紀子	青木いち子	折井こずえ	桑貝紫	中坪さかえ	武田忠男	小池佐和子
2016年（平成28年）	川口恵美子	高野千恵	徳竹秀子	大澤君枝	西澤ひとみ	堀田恵美子	丸山とく子	鶴田まゆみ	中村千代子	日向美佐江	横川玉枝	輪湖二葉	召田美恵子	伊藤喜世子	古畑礼子	折井こずえ	桑貝紫	片桐志津子	武田忠男	小池佐和子
2017年（平成29年）	川口恵美子	高野千恵	徳竹秀子	滝澤典子	小澤彩子	倉嶋国子	倉石明美	鶴田まゆみ	中村千代子	日向美佐江	横川玉枝	輪湖二葉	召田美恵子	伊藤喜世子	古畑礼子	折井こずえ	五十嵐美都子	有賀いずみ	武田忠男	眞島裕美子

年度＼支部名	飯山	中野	長野	長野赤十字	長野市民	長野南	松代総合	篠ノ井総合	上田	佐久	安曇	安曇野赤十字	松塩	信大	木曽	諏訪	諏訪赤十字	伊那	飯田	下伊那赤十字
2016年（平成28年）	池田松美	高野千恵	徳竹秀子	滝澤典子	小澤彩子	倉嶋国子	倉石明美	澤井睦子	竹内明子	日向美佐江	横川玉枝	輪湖二葉	西澤弘行	伊藤喜世子	古畑礼子	芳澤まゆみ	五十嵐美都子	有賀いずみ	武田忠男	眞島裕美子
2017年（平成29年）	佐治瑞枝	高野千恵	徳竹秀子	滝澤典子	小澤彩子	倉嶋国子	倉石明美	澤井睦子	竹内明子	日向美佐江	横川玉枝	輪湖二葉	西澤弘行	両角裕子	本椙芳子	芳澤まゆみ	五十嵐美都子	有賀いずみ	武田忠男	眞島裕美子
2018年（平成30年）	佐治瑞枝	坪根敦子	徳竹秀子	中澤多鶴子	小林智美	宮本桂子	倉石明美	澤井睦子	竹内明子	土屋美佐子	横川玉枝	森山民子	西澤弘行	両角裕子	本椙芳子	芳澤まゆみ	日暮幸江	有賀いずみ	武田忠男	眞島裕美子

年度＼支部名	飯山	中野	長野	長野赤十字	長野市民	長野南	松代総合	南長野医療センター	上田	佐久	安曇	安曇野赤十字	松塩	信大	木曽	諏訪	諏訪赤十字	伊那	飯田	下伊那赤十字
2019年（令和元年）	佐治瑞枝	坪根敦子	塩崎八重子	中澤多鶴子	小林智美	宮本桂子	倉石明美	所加代子	竹内明子	土屋美佐子	横川玉枝	森山民子	西澤弘行	両角裕子	舟木邦子	植松洋子	日暮幸江	有賀いずみ	武田忠男	眞島裕美子
2020年（令和２年）	中島千鶴子	坪根敦子	塩崎八重子	中澤多鶴子	小林智美	宮本桂子	倉石明美	所加代子	竹内明子	土屋美佐子	横川玉枝	森山民子	西澤弘行	所真由美	舟木邦子	植松洋子	日暮幸江	有賀いずみ	武田忠男	眞島裕美子

表彰者一覧表

長野県看護連盟表彰者

No.	地区	会長表彰 平成24年	会長表彰 平成25年	会長表彰 平成26年	会長表彰 平成27年	会長表彰 平成28年	会長表彰 平成29年	会長表彰 平成30年	会長表彰 令和元年	会長表彰 令和２年	会長表彰 令和３年
1 2	北信	畠山悦子	宮入ひさ枝	山口直子	西澤ひとみ	堀田恵美子	小平恵子	山﨑常安	須藤のり子	小林直子	塩﨑八重子 徳竹秀子
1 2	東信	翠川基子	花岡富美子	柏木よし子	小林厚子	中村千代子	両角直子	高末真知子 依田直美	近藤久代	谷川幸弘	日向美佐江 渡辺恵子
1 2	中信	丸山由美子 浦野美代子	勝野玲子	忠地けさ江	青木いち子	召田美恵子	三輪百合子 中村幸子	土屋恭子	小林記久代	重盛るり子	降簱祥子 輪湖二葉
3 4											西澤弘行 島崎良子
1 2	南信	片桐志津子	山田みどり 宮崎美幸	大日方清子 蟹江弓子	小林利子 何原真弓	折井こずえ	小池佐和子	菅沼ふじ子	田中喜恵子 中坪さかえ	石田洋子	武田忠男 有賀いずみ
感謝状						堀内英子					

日本看護連盟表彰者

	55周年　2011年度（平成23年）	60周年　2020年度（令和２年）
表彰者	藤澤淑子（特別表彰）	五十嵐久子（役員功労賞）
	宮澤千代子（会長表彰）	小林記久代（役員功労賞）
	若林貞子（会長表彰）	小林悦子（役員功労賞）
	折井こずえ（会長表彰）	近藤久代（役員功労賞）
	林　晴子（会長表彰）	降簱祥子（役員功労賞）
	古旗征子（会長表彰）	
感謝状		菅井妙子（職員功労賞）

自民党県連大会表彰者

41　回	42　回	43　回	44　回	45　回
2011年５月	2012年５月	2013年５月	2014年５月	2015年５月
宮澤千代子	森林美恵	小林厚子	若杉志賀子	中村みき子
46　回	47　回	48　回	49　回	50　回
2016年５月	2017年５月	2018年５月	2019年５月	2020年５月
丸山由美子		武田忠男	森山民子	大会中止

自民党大会　優秀組織

2018年
長野県看護連盟

資料

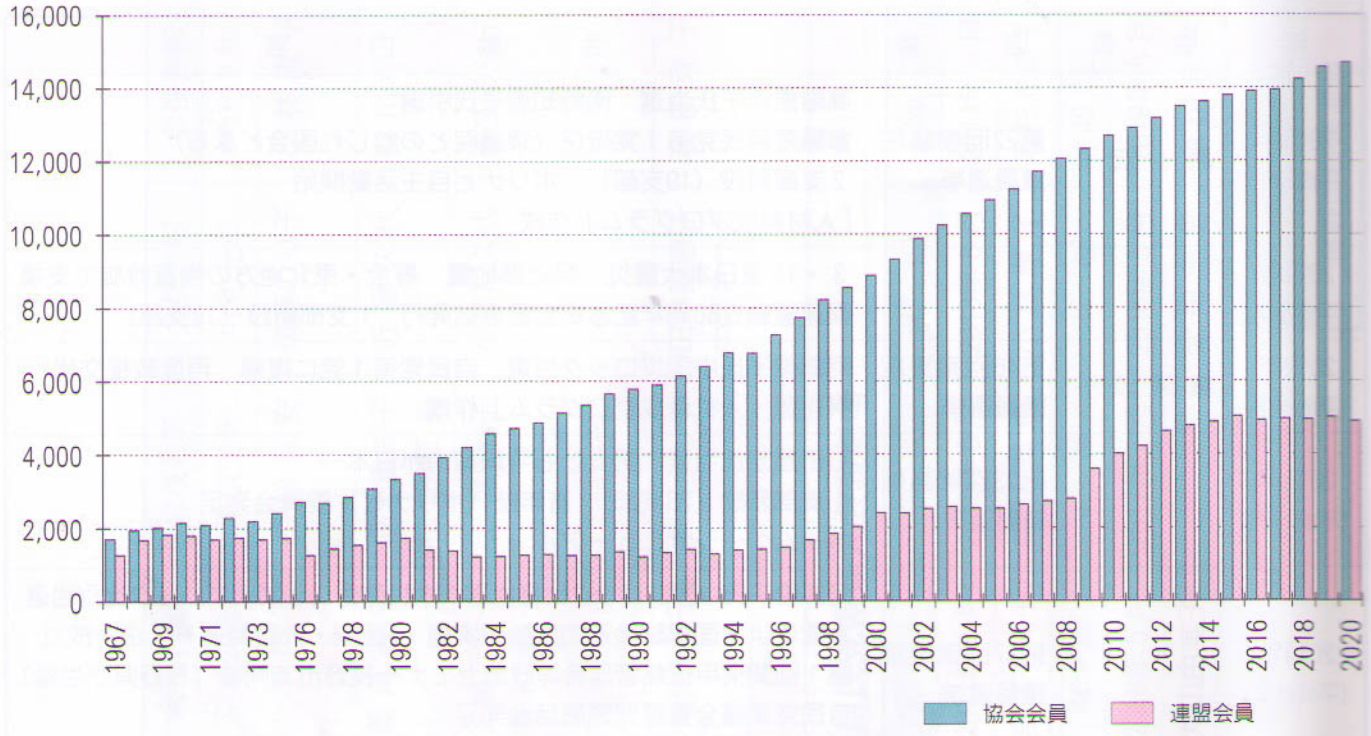
長野県看護連盟年表（2010年４月～2021年３月）

年	会長	選挙	活動内容
2010年（平成22年）	原　宏子	第22回参議院議員選挙	髙階恵美子氏当選　南野知恵子氏引退 参議院自民党第１党確保（衆議院とのねじれ国会となる） ２支部新設（19支部）　ポリナビ自主活動開始 「人材育成プログラム」作成
2011年（平成23年）			３・11東日本大震災　県北部地震　募金・東北地方の物資斡旋で支援 県連盟創立50周年記念総会記念誌発行　１支部新設（19支部）
2012年（平成24年）	藤澤淑子	第46回衆議院議員選挙	阿部俊子氏中国ブロック当選　自民党第１党に復帰　再度政権交代 県連盟「人材育成プログラム」作成
2013年（平成25年）		第23回参議院議員選挙	石田昌宏氏当選　男女とも平均寿命が日本一 １支部新設（20支部）　青年部（ポリナビ）委員会発足 ホームページリニューアル
2014年（平成26年）		第47回衆議院議員選挙	阿部俊子氏中国ブロック比例当選　木村弥生氏北関東ブロック比例当選 大雪による国家試験追加試験の実施　「医療・介護関連一括法」成立 第１回関東甲信越管理者等政策セミナー長野市で開催（長野県が当番） 自民党県議会看護問題懇話会発足 災害（南木曽町土石流・御嶽山噴火・広島県豪雨土石流）　消費税８％
2015年（平成27年）			特定行為研修制度、看護職等離職時届け出制度開始 関東・東北豪雨災害
2016年（平成28年）		第24回参議院議員選挙	髙階恵美子氏当選　熊本地震支援
2017年（平成29年）	三輪百合子	第48回衆議院議員選挙	阿部俊子氏岡山県第３区当選　木村弥生氏近畿ブロック比例当選
2018年（平成30年）			関東甲信越ポリナビワークショップ in 長野開催（長野市） 西日本豪雨災害支援（広島県・岡山県・愛媛県）北海道北部・東部地震 第48回自民党大会で長野県看護連盟が「優秀党組織」受賞 成人年齢を18歳に引き下げる改正民法成立
2019年（令和元年）		第25回参議院議員選挙	５月令和に改元 石田昌宏氏当選“Nursing Now”キャンペーン展開 長野県看護連盟会員5,000名に達する　10月消費税10％にUP 台風19号災害　被災会員多数（東北信）日看連・他都道府県より義援金

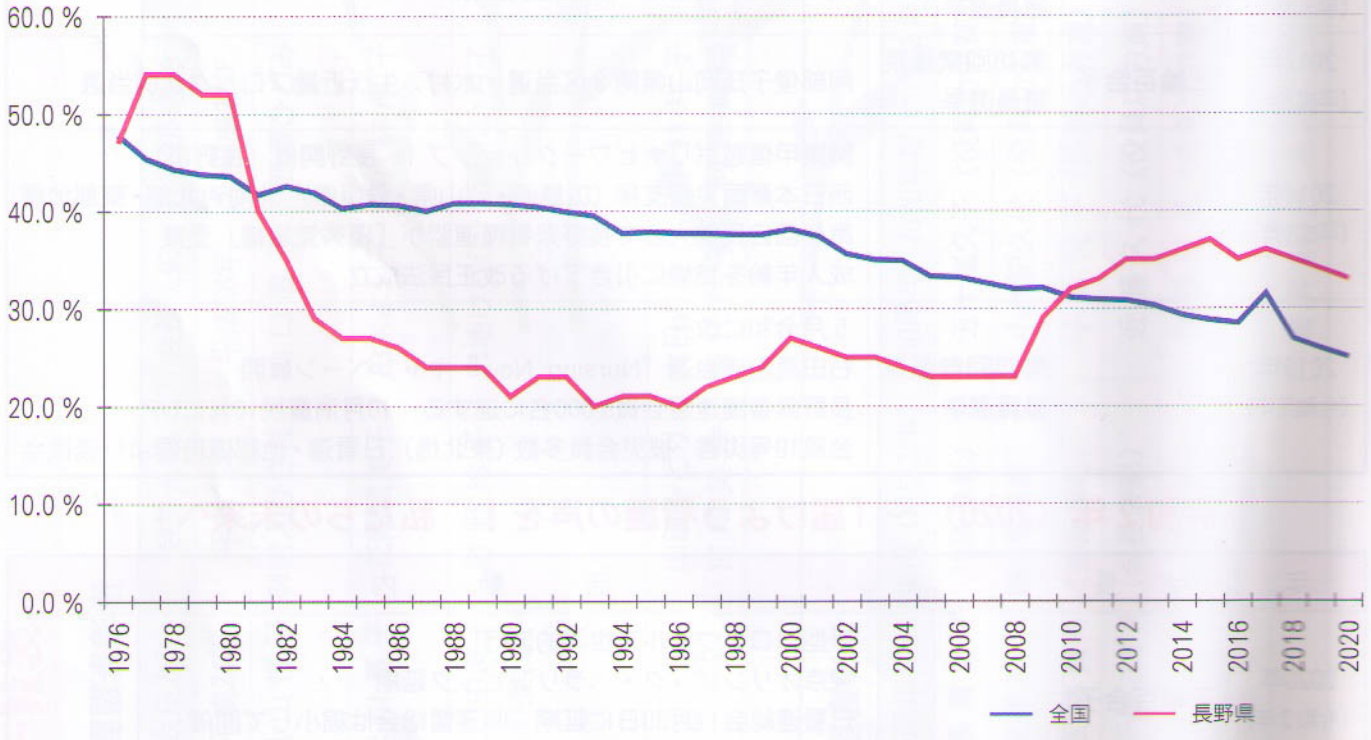
令和２年（2020）～「届けよう看護の声を！　私たちの未来へ」

年	会長	選挙	活動内容
2020年（令和２年）	三輪百合子		新型コロナウイルス世界的流行 東京オリンピック・パラリンピック延期 日看連総会11月30日に延期　県連盟総会は縮小して開催 新スローガン「届けよう看護の声を！　私たちの未来へ」
2021年（令和３年）			新型コロナウイルスワクチン医療関係者から開始 長野県看護連盟創立60周年記念式典（リモート開催）

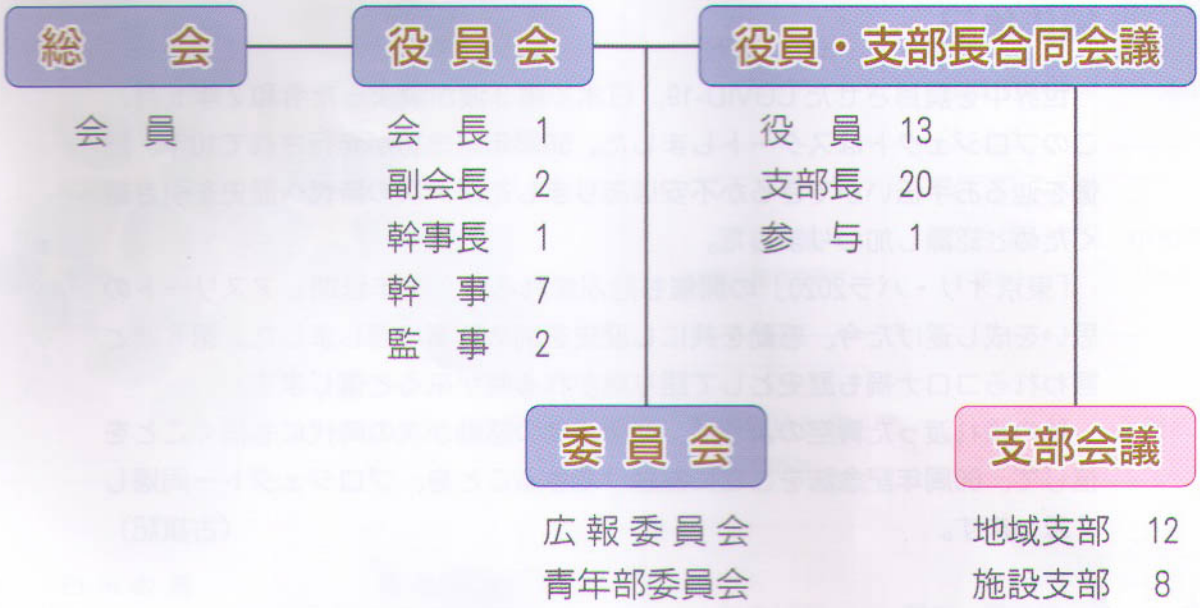
長野県　看護協会会員・看護連盟会員の推移

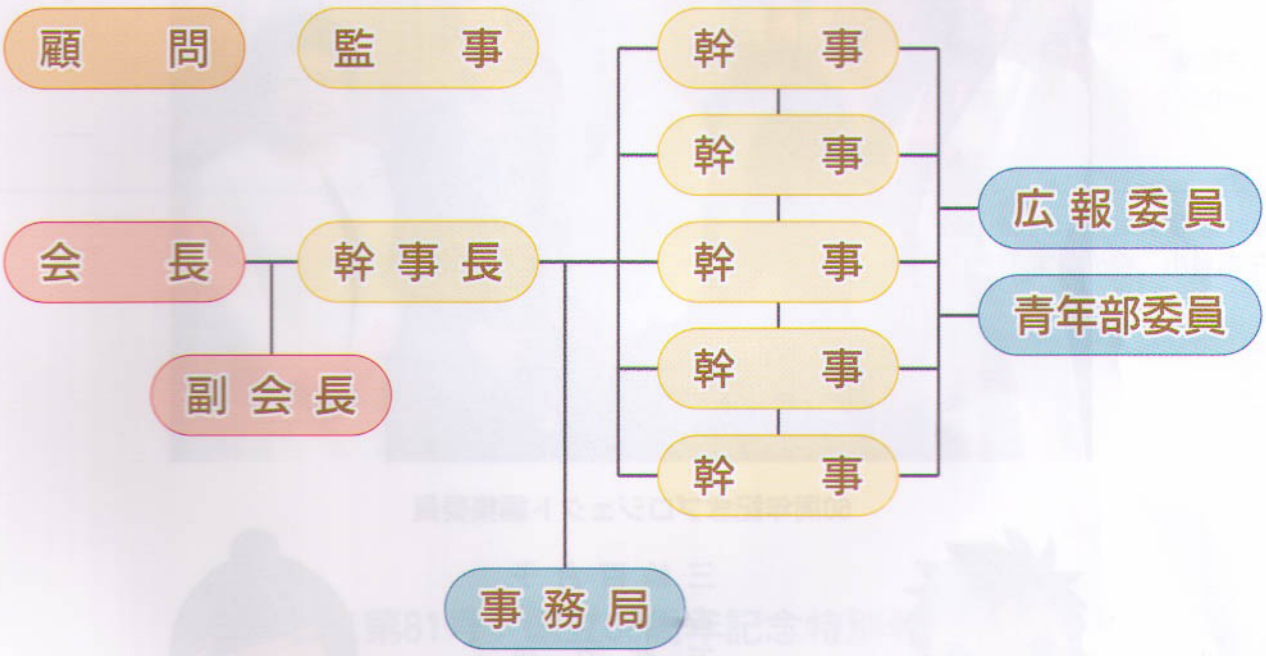


看護協会会員・看護連盟会員の比率の推移



長野県看護連盟組織図


総　会
会　員
役員会
会　長　1
副会長　2
幹事長　1
幹　事　7
監　事　2
役員・支部長合同会議
役　員　13
支部長　20
参　与　1
委員会
広報委員会
青年部委員会
支部会議
地域支部　12
施設支部　8


顧　問
監　事
会　長
幹事長
副会長
幹　事
幹　事
幹　事
幹　事
幹　事
広報委員
青年部委員
事務局

編集後記

世界中を震撼させたCOVID-19、日本で第3波が鎮まった令和2年5月、このプロジェクトはスタートしました。50周年記念誌が発行されて10年、記憶を辿るお手伝いができるか不安はありましたが、次の時代へ歴史を引き継ぐためと認識し加わりました。

「東京オリ・パラ2020」の開催も危ぶまれる中、1年延期しアスリートの思いを成し遂げた今、感動を共にし歴史を刻めた事に涙しました。第5波と言われるコロナ禍も歴史として語り継がれる時が来ると信じます。

秋の晴れ渡った青空のように、連盟活動の感動が次の時代にも続くことを信じて、60周年記念誌をここにお届けできることを、プロジェクト一同嬉しく思います。

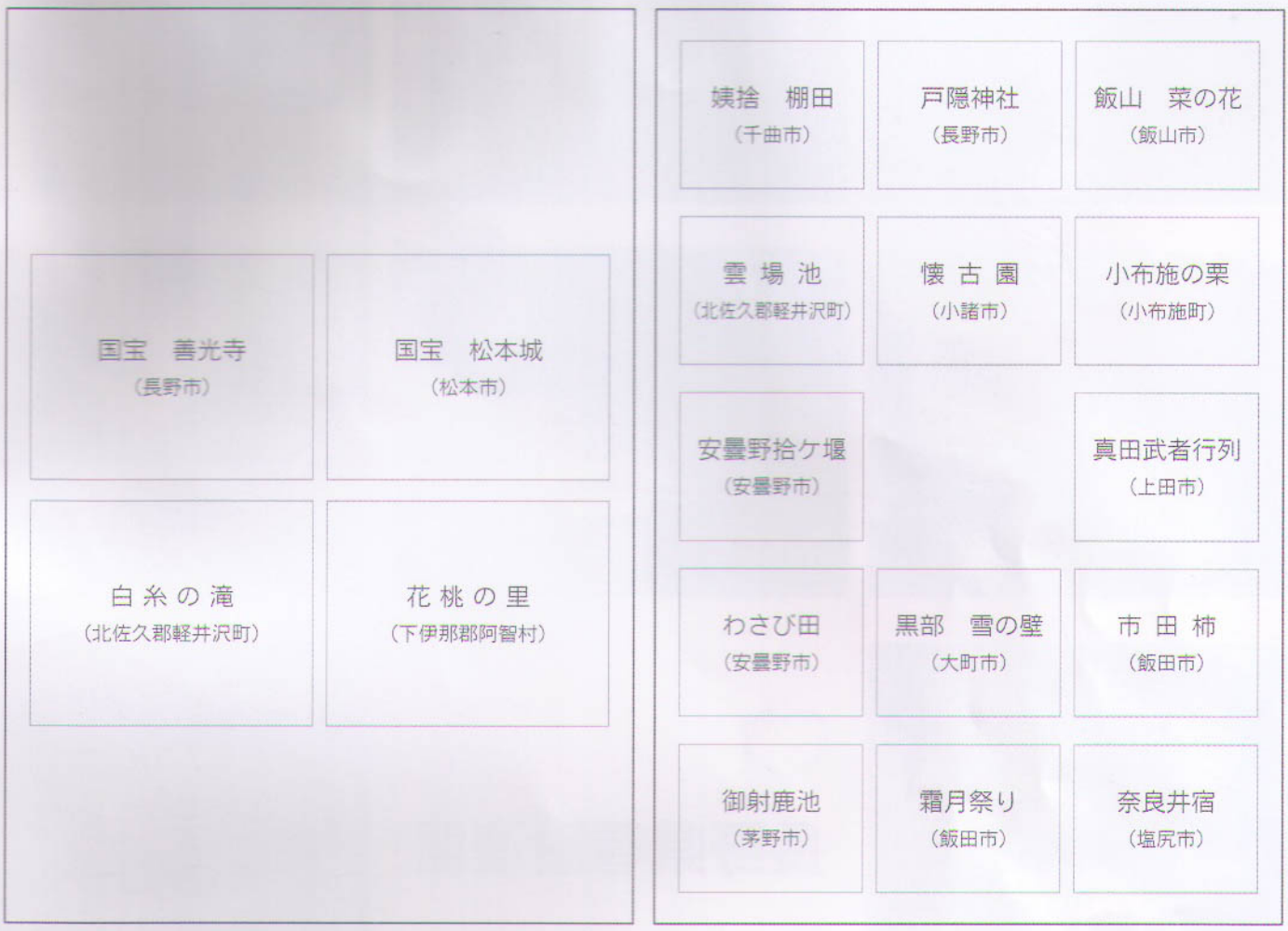
（古旗記）

60周年記念プロジェクト編集委員

三輪百合子
古旗征子
近藤久代
小林厚子
○加藤祐美子

2021年10月

表紙写真説明



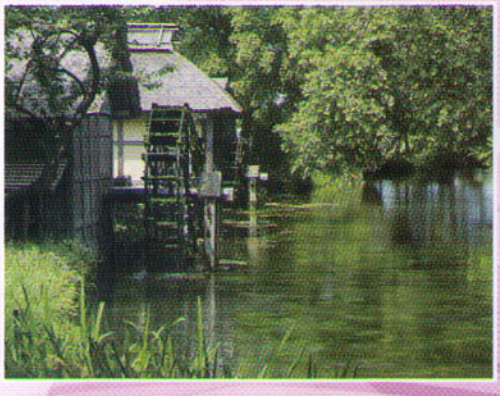
写真提供：長野県公式観光サイト　Nagano Tourlism Organization
国宝善光寺　小林厚子撮影

なでしこ第81号　創立60周年記念特別号

令和３年10月１日発行

発行者　長野県看護連盟　〒390-0802 松本市旭２－11－34
TEL 0263－35－3556

責任者　三輪百合子

印　刷　双葉印刷有限会社　〒390-0807 松本市城東２－２－６
TEL 0263－32－2263

長野県看護連盟